

「ゲネプロ」って何？

おはようございます。

いよいよ、文化祭まであと2日となりました。本日の舞台リハーサルでは、それぞれ出演する演目で、一人ひとりが自分の役割を認識して、全体の動きの中で何をどう動くのかをよく考えて行動してください。

さて、本番が近づいてきました。衣装をつけ舞台装置も照明も本番通りに、どんなことがあっても途中で一切止めないでやるリハーサルのことを専門用語で**※「ゲネ・プロ」**と言います。ゲネ・プロをやると発表する流れの中でうまくいかないことが見えてきます。そこでみんなで話し合い更に改善することで最高の発表ができるようにすることができます。ゲネ・プロは全員が本当に本番のような気持ちでやらなければ意味がありません。まさしく**「ゲネプロは本番のように、本番はゲネプロのように」**です。

今年のスローガン**「みんなの手で 向中に 感動の嵐を」**という目標を達成できるように、最後の追い込みを生徒と先生が一緒になって取り組み、出演する人と観客となる人みんなが感動できる向中文化祭にしましょう。**ひとつのことに真剣に取り組み、努力したことは必ず人間を大きく成長させてくれます。**そして、このことは、これからの皆さんの生き方にも大きく影響することでしょう。

また、明日は教室の壁面や特別教室の展示作業があると思います。展示の仕方ひとつ取ってもその作品の良さが変わってきます。展示するときには、すべて観る側に立って**「ていねいできれいな展示、見やすい心のこもった展示」**にしてほしいと思います。「面倒くさがった雑な展示、適当な展示」はその作品の良さを半減してしまいます。先生や係の人の指示に従って、生徒同士お互いがアドバイスをしながら展示しましょう。すべて展示が終わったら、ホーキとチリトリ、ぞうきんできれいに片付けてください。

最後に、文化祭当日は、大勢の保護者や地域の方、また、近隣の小学生たちも来校します。本校にしてみれば、全員が皆さんの舞台発表や展示を見学に来てくれたお客様です。その**お客様が気持ちよく見学できるように、「こんにちは！」と大きな声で心のこもったあいさつ**ができるようにしましょう。

さあ、みんなで向中文化祭を成功させましょう！！

一校長豆知識一 ※ゲネプロとは？

本番同様の舞台稽古の事を「ゲネプロ」といいます。日本語にすると「通し稽古」「舞台稽古」といった感じですが、実際には、それぞれ少しずつ違う意味で使い分けられています。

全ての稽古が終わり、いよいよ本番間近。
本番を上演する劇場の舞台上、
メイクや衣装、音響、照明など、すべて本番同様に行うのが「ゲネプロ」です。
俳優の演技や様々な効果などが初めて一体となるのですから、
出演者・裏方含め、すべての関係者が最も緊張する瞬間ではないでしょうか？

語源はドイツ語の「Generalprobe」（ゲネラルプローベ）で、この言葉は、General（総合）とProbe（稽古）を足した、「総合的な稽古」という意味で、そのため略して「GP」と表記することもあります。つまり、「ゲネプロ」は、日本だけで使われている省略した言葉です。和製ドイツ語と言ってもいいかもしれませんね。